

科目名	AMADEUS I						
科目名(英)	AMADEUS I						
単位数	3単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2019年	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	航空地上支援サービス 会社において国際線旅		
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約について学び、検定においてSpecialist(初級)の合格を目指す。その中で、航空業界で使用する専門用語(2レター・3レターや機材名など)や航空業界の予約システムについての知識を深め、業界においてマルチに活躍できる人材となることを目標とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					航空会社2レターや都市・空港の3レターを覚え、小テストにおいて満点を取ることができる。	
	○					入力エントリを習得し、予約操作を一人で行うことができる。	
	○					入力エントリを問題によって使い分け、応用することができる。	
			○			スムーズなタイピングを習得し、60分以内で丁寧に問題を解くことができる。	
	○					Specialist(初級)に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:アマデウスユーザーガイド予約、クイックガイド(早見表)、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	アマデウス概要説明、シラバス配布、サインイン・サインアウト			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	2	情報検索①(各種コード検索、都市・空港・国コード)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	3	情報検索②(各種コード検索、航空会社・機材コード)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	4	情報検索まとめテスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	5	タイムテーブル			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	6	ダイレクトアクセス、ヘボン式ローマ字			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	7	空席照会			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	8	PNR作成演習①(基本PNR作成、PNRの再表示、PNR中断)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	9	PNR作成演習②(PNRの取り出し、乗継PNR)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	10	PNR作成演習③(小児・幼児PNRの作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	11	PNRのキャンセル・修正・変更			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	12	PNR作成まとめテスト①(基本編)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	13	SSR・OSI入力(MEAL・FFP・SEAT)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	14	検定模擬試験①、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	15	検定模擬試験②、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	16	検定模擬試験③、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	17	検定模擬試験④、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	18	検定前対策			授業の復習を必ず行い、検定試験に臨むこと。		
	19	定期試験			苦手な点は各自練習を行い検定に臨むこと。		
	20	検定振り返り、中級試験概要説明			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	21	情報検索中級編(フライトインフォメーション、時差)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	22	情報検索中級編(空席照会、航空会社ルールの検索)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
23	アマデウス振り返り			授業の復習を必ず行い、2年次の授業に臨むこと。			
評価方法	(1)授業内で定期試験(実技)を実施する。(2)検定を受験する。(3)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○	◎	○		50%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		45%
	小テスト	◎	○		○		5%
履修上の注意	特に無し。						

科目名	空港インターンシップ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	40時間	担当者	宮崎みゆき・平田かおり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	学内で3回、実習先で1回の事前研修を実施し、インターンシップに必要とされる基礎知識(専門用語や敬語、社会人としてのマナーなど)を身に付けていく。その後、空港における地上職(グランドスタッフ)の就業体験を通して、実践的スキルを習得する。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					空港での接客時に用いる敬語や言い回しを覚え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				航空業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
	○				自ら仕事を見つけ、社員に対して改善点を提案することができる。		
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	エアラインゼミ(実習前研修)①身だしなみ、シフト作成、専門用語の確認				プリントを事前に読んでおくこと。	
	2	エアラインゼミ(実習前研修)②挨拶、緊急時の連絡方法、貸与物の管理				プリントを事前に読んでおくこと。	
	3	エアラインゼミ(実習前研修)③実習先企業でのオリエンテーション				プリントを事前に読んでおくこと。	
	4	エアラインゼミ(実習前研修)④確認テスト、接客ロールプレイ				プリントを事前に読んでおくこと。	
	5~	各企業でのインターンシップ				シフト表を確認し、業務内容を把握しておくこと。	
評価方法	(1)事前研修最終日に2レター・3レター・用語の確認テストを実施する。(2)月に15~20日程度出勤をし、お客様のご案内やオフィス内業務を行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出勤状況				○		100%
履修上の注意	事前研修最終日に実施する確認テストで9割以上正解しないと、インターンシップに参加できない場合がある。						

科目名	SPI I B				
科目名(英)	Preparation for Synthetic Personality Inventory I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	合力、瀧口、安元、村上、宮崎
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	エアライン科・1年				
授業概要	航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテスト等の対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
		○			
		○			
		○			
				○	
目標					
前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。					
計算時間を短縮する工夫を学び、活用できる。					
四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。					
SPI非言語分野頻出テーマの問題の解き方を他者に対して説明できる。					
テキスト・教材 参考図書	教材:「最新最強のSPIクリア問題集」成美堂出版				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	第1回レベルチェック(クラス分け)テスト			後期使用テキストで、SPIの主な問題範囲を確認しておくこと。
	2	仕事算(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	3	仕事算(応用問題)、鶴亀算(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	4	鶴亀算(応用問題)、損益算(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	5	損益算(応用問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	6	速さ(時刻表)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	7	速さ(旅人算)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	8	場合の数			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	9	確率			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	10	割引料金と精算			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	11	割合(分割払い)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	12	集合			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	13	図表の読み取り			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	14	前半まとめ・復習			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	15	前半まとめ・復習(確認テスト)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	16	第2回レベルチェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	17	推論①(基礎問題)、二語関係①(設問と同じ関係になる語の選択)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	18	推論①(応用問題)、二語関係②(設問と同じ関係の対の選択)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	19	推論②(基礎問題)、文法			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	20	推論②(応用問題)、語句の意味			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	21	推論③、短文の穴埋め			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	22	WEBテスト対策①(WEBテスト概要の説明)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	23	WEBテスト対策②(玉手箱:計数問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
	24	WEBテスト対策③(玉手箱:言語問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。
25	推論④(基礎問題)、文章整序			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。	

	26	推論④(応用問題)、空欄補充	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。				
	27	新傾向問題①(基礎問題)、長文読解	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。				
	28	新傾向問題②(応用問題)	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。				
	29	後期まとめ・復習(確認テスト)	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。				
	30	後期まとめ(就職試験について)	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。				
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。(3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。 (4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				45%
	出席回数・宿題・確認テスト等	○			◎		5%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
		○				地理や政治においての基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、第3回実力テスト					
	2	ROUND11				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	3	ROUND12/13				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	4	ROUND13/14				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	5	ROUND14/15				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	6	ROUND15/16				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	7	ROUND16				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	8	第4回実力テスト				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	9	ROUND17				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	10	ROUND17/18				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	11	ROUND18/19				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	12	ROUND19				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	13	ROUND20				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	14	ROUND11~15 まとめ				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
15	ROUND16~20 まとめ						
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		○		80%
	小テスト	○	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		○		10%
	発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	運輸概論・地理						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30	担当者	大岡 牧代		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	運輸業界で働くうえで、航空だけでなく、他の運輸機関に関する基礎知識も必須である。 この授業では、運輸業界を概観し、特に鉄道業界についての知識を習得する。 また、運輸業界に携わる際に必要な日本国内の観光地理知識を習得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					運輸業界には航空のほかどのような業界があるか、その種類や特徴を把握できている。	
	○					日本の鉄道業界について、大手各社の特徴や取り組みを把握できている。	
	○					自然景観や世界遺産など、観光資源になり得るものを説明することができる。	
	○					各都道府県の観光資源を知り、その特徴や所在地が把握できている。	
○					日本各地の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・イカロス出版「鉄道業界就職ガイドブック2020」 ・成美堂出版「今がわかる 時代がわかる 日本地図 2019年版」など 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	観光資源とは、世界遺産について			授業で出てきた世界遺産を地図帳で確認し、画像検索等を活用してイメージをつかむこと。		
	2	運輸業界概観			運輸業界にはどのような種類、どのような会社があるか、調べてみる。		
	3	鉄道業界を知る～JRと大手民鉄～			JR旅客6社および新幹線の路線とその運行区間を覚えること。		
	4	運輸業界の会社組織、鉄道事業と関連事業			興味のある運輸業界の会社について、その組織や事業内容を調べてみる。		
	5	鉄道各社の取り組み			鉄道各社が運行している観光列車について、インターネット等を活用し、調べてみる。		
	6	航空業界と観光			国内大手航空会社による観光に関連する取り組みを、各社機内誌等から探してみる。		
	7	国内観光地理① — 九州・沖縄地方			授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。		
	8	国内観光地理② — 九州・沖縄地方			授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。		
	9	国内観光地理③ — 九州・沖縄地方			授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。		
	10	国内観光地理④ — 九州・沖縄地方			授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。		
	11	国内観光地理⑤ — 北海道・東北地方			授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。		
	12	国内観光地理⑥ — 関東・中部地方			授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。		
	13	国内観光地理⑦ — 近畿地方			授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。		
	14	国内観光地理⑧ — 中国・四国地方			授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。		
15	観光資源のまとめ			後期期末試験に向けて、学習範囲の復習をしておく。			
評価方法	(1)授業内で配布する記入式プリントを定期的に回収し評価する。(2)課題提出を1回課す。 (3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業プリント	◎	○		◎		25%
	課題	◎	◎				25%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名 Subject Name	English Conversation I							
科目名(英) Same as Above	English Conversation I							
単位数 Credits	2	時間数 Hours	30	担当者 Instructor	Andrew Highcock, Mark Wisniewski, Scott Anthony Newby			
実施年度 Year	2019	実施時期 Semester	後期	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area				
対象学科・学年 Class	Airline 1							
授業概要 Subject Description	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills							
授業形式 Class Format	講義: Lecture	△	演習: Practice	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標 Targets		
	○	○				Raise students' English proficiency		
	○	○	○	○		Give students more confidence in using English		
	○	○				Workplace related English skills		
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Elementary Book1							
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents				授業外学修指示 Preparation and Review		
	1	Summer Vacation				none		
	2	Unit 3.3 Are You Free Tonight				Preview lesson materials and review previous lesson		
	3	Unit 3.4 A Celebration in Crete				Preview lesson materials and review previous lesson		
	4	Unit 3.5 Review				Preview lesson materials and review previous lesson		
	5	Unit 4.1 Small Place, Big Style				Preview lesson materials and review previous lesson		
	6	Unit 4.2 An English Village?				Preview lesson materials and review previous lesson		
	7	Unit 4.3 Can I Help You?				Preview lesson materials and review previous lesson		
	8	Unit 4.4 Favourite Places				Preview lesson materials and review previous lesson		
	9	Unit 4.5 Review				Preview lesson materials and review previous lesson		
	10	Unit 5.1 My fridge				Preview lesson materials and review previous lesson		
	11	Unit 5.2 A Lifetime in Numbers				Preview lesson materials and review previous lesson		
	12	Christmas Lesson				Preview lesson materials and review previous lesson		
	13	Unit 5.3 A Chef in Goa				Preview lesson materials and review previous lesson		
	14	Review and Practice for Speaking Test				Preview lesson materials and review previous lesson		
	15	Speaking Test				Review previous lesson material		
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test – 50% (2) Class participation – 25% (3) Attendance – 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)							
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Eagerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment	
	定期試験 Semester End Exam	○	○	○	○		50%	
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%	
	宿題・レポート Assignment/Report							
	発表・作品 Presentation/Works							
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.							

科目名	韓国語 I								
科目名(英)	Korean I								
単位数	2	時間数	30	担当者	蘆				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	エアライン科1年								
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。								
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○					語彙力の増強			
		○	○			Listening力			
	○	○				基本の文法			
	○	○				読解力			
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	韓国語について							
	2	基礎 文字づくり							
	3	基礎 文字づくり							
	4	基礎 文字づくり							
	5	基礎 文字づくり							
	6	基礎 単語、仕組みの中のパッチムについて							
	7	基礎続き 文字慣れ 発音変化 その①							
	8	基礎続き 発音変化②							
	9	1課 挨拶、簡単な自己紹介①							
	10	1課 挨拶、簡単な自己紹介②							
	11	2課 疑問文①							
	12	2課 疑問文②							
	13	3課 否定文①							
	14	3課 否定文②							
15	総まとめ 定期試験対策								
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。2. 実力に(抜き出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。4. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	○				50%		
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%		
履修上の注意									

科目名	客室業務						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30時間	担当者	江口 美奈子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	CAの機内業務を理解する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			老若男女から好まれる身嗜みを保つことが出来る。	
		○				CA業務の基本知識を理解出来る。	
			○			ドリンクサービスを正確に行うことが出来る。	
			○			優先順位を考え、行動化出来る。	
		○	○			笑顔、親しみやすさを発揮することが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	CA業務を知る					
	2	サービス業務について(1)					
	3	サービス業務について(2)					
	4	サービス業務について(3)					
	5	サービス業務について(4)					
	6	サービス業務について(5)					
	7	サービス業務について(6)					
	8	ドリンクサービス実技試験					
	9	保安業務について(1)					
	10	保安業務について(2)					
	11	保安業務について(3)					
	12	保安業務について(4)					
	13	国際線サービスについて					
	14	CA就職対策(1)					
15	CA就職対策(2)						
評価方法	①機内ドリンクサービスの実技試験を行う(授業内) (チェック項目:第一印象・身嗜み・メイク・所作・基本動作・笑顔・親しみやすさ・手際の良さ) ②授業態度、意欲						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	入退室試験			○			80%
	提出物	○			○		10%
意欲・態度				○		10%	
履修上の注意							

科目名	実用英語 I B				
科目名(英)	Practical English I B				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	玉川 久美子
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	エアライン科1年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
目標	文法、語法、語彙を学び、文章中の情報をもとに構文を理解することができる。 英語を聴くことに慣れ、意味を聞き取り、特定状況の中で使われるフレーズを学んでいく。 ビジネスの背景知識を身につけるためにも日頃から新聞、ニュースに触れることで、知識や一般常識を活用できるようにする。				
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 実用英語2級問題集、英語検定協会 過去問題 ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集				
授業計画	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	動機付けー英語レベル分けテスト	学んだ問題の見直しをすること。		
	2	動機付けー英検2級能力判別テスト	学んだ問題の見直しをすること。		
	3	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	4	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	5	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	6	解法ポイントの理解ーリスニング、英作文	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	7	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	8	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	9	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	10	解法ポイントの理解ーリスニング、英作文	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	11	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	12	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	13	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	14	総合模試対策ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	学んだ問題の見直しをすること		
	15	総合模試対策ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	学んだ問題の見直しをすること		
	16	総合模試対策ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	学んだ問題の見直しをすること		
	17	総合模試対策ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	学んだ問題の見直しをすること		
	18	まとめ&質疑応答	学んだ問題の見直しをすること		
	19	TOEIC動機付けー文章中の情報をもとに構文ポイントを理解	学んだ問題の見直しをすること		
	20	構文の理解ー主述の一致、格、時制、態、リスニング	学んだ問題の見直しをすること		
	21	構文の理解ー前置詞、接続詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること		
	22	構文の理解ー準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)	学んだ問題の見直しをすること		
23	構文の理解ー不定詞、動名詞、分詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること			

	24	構文の理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	25	構文の理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	26	構文の理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	27	構文の理解—語法、構文、比較、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	28	構文の理解—関係詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	29	情報を関連づけての読み取り—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	30	情報を関連づけての読み取り—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	31	情報を関連づけての読み取り—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	32	情報を見つけて意味を理解—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	33	情報を見つけて意味を理解—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	34	同義語を理解して言い換え表現ができること	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	35	同義語を理解して言い換え表現ができること	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	36	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	37	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	38	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	39	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	40	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	41	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	42	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	43	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	44	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	45	まとめ&質疑応答	確認テスト実施、事前の勉強をしておくこと。				
評価方法	(1)授業の中で語彙テストを実施する。(2)課題を与える。(3)中間テストを実施する。(4)期末試験(筆記)を実施する。以上の観点、割合から総合評価する。 成績評価基準は内規に準ずる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	語彙テスト	○					
	中間テスト	○	○				
	期末試験	○	○				
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 I B						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	90時間	担当者	江口 美奈子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	国際化が進み、高い英語力が求められる。この授業では、英検2級、TOEIC450点取得を目標とし、解法のポイントをお伝えしながら、目標達成に臨む。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	英検2級取得に必要な文法を理解する		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	英検2級取得に必要な単語を習得する		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TOEIC450点取得に必要な解法のポイントを理解する		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TOEIC450点取得に必要な単語を理解する		
テキスト・教材 参考図書	プリント・辞書						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト					
	2	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	3	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	11	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	12	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	14	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	15	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	16	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	17	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	18	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	19	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	20	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	21	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	22	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	23	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	24	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	26	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	27	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	28	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	29	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	30	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	31	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	32	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	33	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	34	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	35	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	36	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	37	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	38	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	39	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	40	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	41	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	42	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	43	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	44	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
45	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
評価方法	1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
小テストや授業態度	◎	○		○		5%	
履修上の注意							

科目名	実用英語 I B					
科目名(英)	Practical English I B					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	安元 千夏	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、実用英語検定準2級の取得を目標とする。またTOEIC400点以上取得を目指し、分野別問題解法ポイントの習得対策を実施していく。日常英会話に留まらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの英語力を持つ人材の育成を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				英文法を理解し語彙力を高めることで、英検準2級レベルの読解力を身に付ける。
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、英検準2級レベルのリスニング力を身に付ける。
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英検準2級レベルの英作文力を身に付ける。
	○	○				ビジネス英語の基本語彙を身に付け、TOEIC400点レベルの読解力を身に付ける。
○	○				TOEICリスニングの解法を学び、TOEIC400点レベルのリスニング力を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準2級7日間達成予想問題ドリル ・TOEIC全パート入門書き込みドリル 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	テスト			無し	
	2	語彙問題 基礎、リスニング			無し	
	3	語彙問題 基礎、リスニング			授業の復習と次回授業の予習	
	4	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	5	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	6	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	7	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト、英作文対策			授業の復習と次回授業の予習	
	8	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	9	模試①(リスニング)			模試の復習	
	10	模試②(リーディング)			模試の復習	
	11	TOEIC part5基礎、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	12	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	13	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	14	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	15	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	16	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	17	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	18	模試①(リスニング)			模試の復習	
	19	模試②(リーディング)			模試の復習	
	20	TOEIC part5基礎、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	21	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	22	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	23	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	24	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
25	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習		

26	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策	授業の復習と次回授業の予習					
27	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策	授業の復習と次回授業の予習					
28	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
29	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
30	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
31	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
32	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
33	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
34	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
35	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
36	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
37	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
38	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
39	TOEIC part6応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
40	TOEIC part6応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
41	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
42	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
43	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
44	模試①	模試の復習					
45	模試②	模試の復習					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				40%
	小テスト・出席率	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	宮崎・平田・江口		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	① 求職票受付面接に向けて書類作成や面接練習を行なう中で、就職試験に必要な準備の仕方を学ぶ。 ② 就職活動のための業界・職種研究に取り組み、情報収集の仕方について学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				就職活動の方法について理解出来ている		
	○				企業研究を行い、各企業・各職種の特徴を理解出来ている		
	○	○	○	○	求職票受付面接に合格出来る		
			○	○	面接対策に向け、自身で準備、事前練習が出来る		
	○	○	○	○	就職面接時の立ち居振る舞い、発言方法の基本を理解し、行動出来る		
テキスト・教材 参考図書	特になし。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	就職活動準備期の過ごし方/後期委員会決め					
	2	就職活動斡旋規定について/求職票受付面接について/自己PR作成					
	3	求職票の書き方/業界・職種への志望動機作成					
	4	1・2年生交流会			質問内容を事前に準備する		
	5	自己PR作成/求職票の書き方					
	6	東京研修振り返り発表会			事前準備を行う		
	7	就職実務					
	8	就職実務					
	9	就職実務					
	10	企業研究まとめ					
	11	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	12	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	13	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	14	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	15	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	16	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	17	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	18	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	19	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	20	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	21	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	22	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	23	面接練習			指導された点は練習を行い、次回までに改善させる		
	24	求職票受付面接					
	25	就職実務					
	26	就職実務					
	27	就職実務					
	28	就職実務					
	29	就職実務					
	30	就職実務					
評価方法	(1) 求職票受付面接の可否 (2) 後期に作文を1回提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席				○		70%
	求職票受付面接				○		20%
	作文提出				○		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	総合英語 I B						
科目名(英)	General English I B						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	野々村 賢一		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	英語の基礎となる品詞と5文型の理解を深め、様々な文法事項へ応用できる力を付ける。英語の成り立ちと英語が訳せない理由を把握することで、それを克服し、勤や、感覚に頼らず論理的に英文を訳せる力を身に付ける。また英文解釈にとどまらず、TOEICのPart5に活用できる力を付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				英語のルール、文の成り立ち、構造を理解し、正確に読む方法を身に付ける	
	○	○				文構造を把握し勤や感覚にたよらず論理的に英文を訳せるようになる。	
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への活用ができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	クラス概要の説明、自己紹介、品詞重要な4大品詞			前回の授業の復習		
	2	品詞重要な4大品詞:名詞・動詞・形容詞・副詞の役割と練習問題			前回の授業の復習		
	3	4大品詞に次ぐ重要品詞:前置詞・接続詞と練習問題			前回の授業の復習		
	4	文の成り立ち②:文の要素と修飾語			前回の授業の復習		
	5	5文型:修飾語を取り除いた文の要素の語順			前回の授業の復習		
	6	5文型の練習問題			前回の授業の復習		
	7	なぜ5文型の把握が大切なのか①英語が複雑になる3大理由①修飾語			前回の授業の復習		
	8	3つの構成単位:語・句・節			前回の授業の復習		
	9	句と節の対処法:句・節の「範囲」を把握し、()でくくる			前回の授業の復習		
	10	なぜ5文型の把握が大切なのか?②			前回の授業の復習		
	11	句・節の「役割」を特定する			前回の授業の復習		
	12	なぜ5文型の把握が大切なのか③			前回の授業の復習		
	13	読解問題①			前回の授業の復習		
	14	読解問題②			前回の授業の復習		
15	読解問題③			前回の授業の復習			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) ポキャブラリーコンテストを実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				25%
	ポキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		25%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	宮崎 みゆき					
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目						
対象学科・学年	エアライン科1年											
授業概要	航空業界においては、TOEICスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、前期に学んだ基本5文型や品詞への理解をより深め、それらを活用して問題を解いていく。さらに、各パート問題に対するアプローチの方法を知り、時間内に正確に解答を導き出す力を養う。											
授業形式	講義:	○		演習:	△		実習:		実技:		※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。						
	○					TOEIC600点レベルの単語の意味を覚え、正しくスペリング・発音ができる。						
		○				基本5文型を理解し、英文を正しく解釈して意味をとることができる。						
		○				TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。						
	○				TOEIC550点以上のスコアを取得できる。							
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:旺文社「とってもやさしい英文解釈」、アルク「TOEICに出る英文法出るとこだけ!」など											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	4大品詞(名詞・動詞・形容詞・副詞)の役割、基本品詞問題演習					前期の授業内容を復習しておくこと。					
	2	本動詞と主語・動詞の対応					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	3	時制把握のルールと動詞選択					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	4	動詞選択問題の演習					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	5	接続詞と前置詞の違い					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	6	接続詞・前置詞選択問題の演習					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	7	Part5問題演習					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	8	名詞の働きをするカタマリ①					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	9	名詞の働きをするカタマリ②					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	10	形容詞の働きをするカタマリ①					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	11	形容詞の働きをするカタマリ②					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	12	副詞の働きをするカタマリ①					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	13	副詞の働きをするカタマリ②					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
	14	Part5問題演習のまとめ					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。					
15	第2回ボキャブラリーコンテスト・後期まとめ					必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。						
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) ボキャブラリーコンテストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合					
	定期試験	◎	○				50%					
	検定取得状況	◎	○				25%					
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		25%					
履修上の注意	英語辞書、プリント用ファイルを準備しておくこと。											

科目名	総合英語 I B						
科目名(英)	General English I B						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	岡本 彩		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	英語検定合格、TOEICスコアアップ、会話力向上のための英語の基礎力(語彙力、文法力)を養成する。品詞確認と英作文、英文読解に取り組み英語の運用能力を高める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				英語のルール、文の成り立ち、構造を理解し、正確に読む方法を身につける	
	○	○				単語、熟語の数を増やし、実際に使えるようにする	
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる	
テキスト・教材 参考図書	First Primer、TOEIC L&R TEST出る単特急金のフレーズ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、英作文					
	2	不定詞、動名詞				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	3	受動態				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	4	現在完了形				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	5	接続詞				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	6	5文型				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	7	5文型				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	8	疑問文				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	9	Itの特別用法				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	10	分詞				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	11	分詞				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	12	関係代名詞				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	13	関係代名詞				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
	14	後期復習				前回の復習を行って授業に臨むこと。	
15	後期復習				前回の復習を行って授業に臨むこと。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)検定を受験する。(3)ポキャブラリーコンテストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				25%
	ポキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		25%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B								
科目名(英)									
単位数	2	時間数	30時間	担当者	江口 美奈子				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	エアライン科1年生								
授業概要	文法基礎を理解し、英検・TOEICに活かす。								
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○					基本文法を理解出来る			
		○				基本文法を理解して、問題を解くことが出来る			
		○				応用問題が理解できる			
		○				英検・TOEICの問題の中で、何の文法かを把握しながら解くことが出来る			
	○				学んだ文法を、相手に正確に教えることが出来る				
テキスト・教材 参考図書	プリント								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	不定詞(1)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	2	不定詞(2)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	3	動名詞(1)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	4	動名詞(2)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	5	分詞(1)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	6	分詞(2)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	7	接続詞(1)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	8	接続詞(2)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	9	比較(1)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	10	比較(2)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	11	関係代名詞(1)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	12	関係代名詞(2)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	13	関係副詞				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	14	復習テスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
15	復習テスト								
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) 検定を受験する。 (3) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	○				50%		
	検定取得状況	◎	○				25%		
	ホキヤノフリーコンテストの結果	◎	○		○		25%		
履修上の注意									

科目名	地上業務						
科目名(英)	Ground Staff Course						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	安元 千夏		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	グランドスタッフの職種理解を深め、専門性を身に付ける。航空業界の現場で必要とされる知識を習得し実技を通して接客の技術を磨くことにより、即戦力として活躍できる人材を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					航空業界、グランドスタッフに必要な専門性と知識を習得する。	
	○	○				グランドスタッフの業務の流れを理解する。	
			○	○		実技を通し、正しい言葉遣いやお客様への対応力を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	・エアポートビジネス入門 ・プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	GSの仕事とは・目標設定				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	接客に必要な心構え・言葉遣い				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	国内線と国際線の違い				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	出発業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	チェックインロールプレイ①				敬語の復習をしておくこと	
	6	チェックインロールプレイ②				ロールプレイの復習をしておくこと	
	7	到着業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	手荷物事故				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	特別旅客				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	多頻度旅客				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	チェックインロールプレイ③				ロールプレイの復習をしておくこと	
	12	チェックインロールプレイ④				ロールプレイの復習をしておくこと	
	13	空港アナウンス				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	ロードコントロール業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
15	まとめ						
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	実技試験		◎	◎	○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	中国語 I										
科目名(英)	Chinese I										
単位数	2		時間数	30		担当者	王				
実施年度	2019		実施時期	後期		実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	エアライン科一年										
授業概要	中国語をマスターするための第一歩は発音です。ゆっくり時間をかけてピンインの発音をクリア その次 基本的な文法をふまえながら、できるだけ日常生活に合わせ、常用語を数多く取り入れて、中国語の文章表現を修得し、応用できるように										
授業形式	講義:	○		演習:	△		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					語彙力の増強					
	○	○	○			Listening力					
	○	○				基本の文法					
	○	○				読解力					
テキスト・教材 参考図書	中国語はじめての一步										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	中国語入門 中国語の特徴及び習い方 自己紹介									
	2	自己紹介を復習して、ピンインの発音練習及び四声									
	3	単母音と子音をマスターして、四声を繰り返して、発音の特徴をつ									
	4	前回の復習 複合母音と四声のつけ場所 数字の練習									
	5	ピンインの発音チェックと発音練習									
	6	第1課 文法ポイント 是という判断文の文型									
	7	単語を読みながら、文法に基づいて会話する									
	8	文の解釈と応用プリント									
	9	小テスト 第2課 文法ポイント									
	10	指示代名詞と副詞と疑問詞									
	11	自分の苗字と出身地を中国語で言えるよう、人に聞けるよう									
	12	単語を読みながら、文法に基づいて会話する									
	13	一部の動詞を勉強して、更に会話の実力をアップする									
	14	復習プリント									
15	期末テスト範囲										
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 3. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	定期試験	◎	○				50%				
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%				
履修上の注意											